

オーディオ実験室収載

タップリベラメンテとフィルタライザーの活用(9) — 第3のリスニングルームのシステムへの適用 —

1. 始めに

別宅の第3のリスニングルームについては、[第3のリスニングルームの構築](#)で紹介していますが、電源関係はそれでもともとあった一般家庭用のタップからスタートしています。その後、KOJOのタップやタップリベラメンテの導入で余ってきたホスピタルグレードのタップなどを運んでセットしています。この別宅は集合住宅の1階にあり、電源環境はあまりよくないと思われますので、タップリベラメンテとフィルタライザーがどのような効果を発揮するかに興味があります。

2. タップリベラメンテとフィルタライザーの試聴方法

第3のリスニングルームの詳細については[第3のリスニングルームの構築](#)を参照していただくとして、今回タップリベラメンテとフィルタライザーの適用対象とするのは次の機器です。

LHH-1000のトランスポート部、LHH-1000のDAC部および若松通商マランツ7タイプキットプリの電源をタップリベラメンテから取ります。フィルタライザーはマランツ7タイププリの電源ケーブルを巻きます。音源はCDでLHH-1000のトランスポートから再生します。



スピーカーはタンノイのオートグラフミニで、ヒースキットのW5M KT66ppで駆動

しています。



3. タップリベラメンテとフィルタライザーの試聴結果

以前は電源を一般家電用のタップから取っていましたが、最近は余ってきたホスピタルグレードのタップを持ってきています。この状態でかなり良くなっていたと思っていたのですが、LHH-1000 のトランsport部、LHH-1000 のDAC部および若松通商マランツ7タイプキットプリの電源をタップリベラメンテから取りますと、すっきりと澄んだ透明度の高い音になります。さらにマランツ7タイププリの電源ケーブルをフィルタライザーに巻きますと、生き生きとした躍動感が出てきます。なお、その他についてはケーブルの長さが不足したり、太くて巻きづらいことで見送っています。また、パワーアンプ、LHH-1000 のトランsport部、LHH-1000 のDAC部は直出しの電源ケーブルですので、パワーリベラメンテも使えません。このままにしておきたいところですが、その余裕がないので、撤収して元に戻しますと、なんとなく平凡な音に聴こえてしまいました。

4. まとめ

LHH-1000 のトランsport部、LHH-1000 のDAC部および若松通商マランツ7タイプキットプリの電源をタップリベラメンテから取ること、ならびにマランツ7タイププリの電源ケーブルにフィルタライザーを巻くことで効果を認めました。

以上

